

岩田規久男教授略歴ならびに著作目録

略 歴

1942年10月3日	大阪府に生まれる
1966年3月	東京大学経済学部卒業
1969年3月	東京大学大学院経済学研究科修士課程修了 経済学修士取得
1973年3月	東京大学経済学研究科博士課程修了
1973年4月	上智大学経済学部専任講師
1976年4月	上智大学経済学部助教授
1976年9月—1978年8月	カルフォルニア州立大学バークレイ校経済学部客員研究員
1983年4月	上智大学経済学部教授
1998年4月	学習院大学経済学部教授
2004年4月—2004年9月	イギリスサセックス大学社会学部客員研究員
2004年9月—2005年3月	オーストラリア国立大学アジア研究学部日本センター及び日豪研究所客員研究員
2009年9月—2010年5月	ニュージーランドオタゴ大学経済学部客員研究員
2010年6月—2010年8月	タイチュラロンコン大学経済学部客員研究員

著 作 目 録

- ・「税制と資本コスト」『季刊理論経済学』22（3），1971年（小宮隆太郎氏との共著）
- ・「借地借家法の経済学的分析」『季刊現代経済』24，1976
- ・“On the Lock-in Effect of the Capital Gains Tax”，The Economic Studies Quarterly（『季刊理論経済学』）27（3），1976
- ・『企業金融の理論 資本コストと財務政策』日本経済新聞社，1973
- ・「地価問題の混乱をただす」『東洋経済近代経済学シリーズ』1973年10月4日号（小宮隆太郎氏との共著）
- ・『土地と住宅の経済学』日本経済新聞社，1977

- ・「損失補償の経済的側面」『経済学論集』第43巻第1号, 1977年4月
- ・「都市再生と地価対策」『ジュリスト』No.722, 1980年8月1-15日号
- ・「交通公害対策とその費用負担」『季刊環境研究』第51号, 1984
- ・「利益衡量の経済学的検討」『ジュリスト』No.840, 1985年7月1日号
- ・「日本における銀行規制」『経済学論集』第51巻第1号, 1985年4月(堀内昭義氏との共著)
- ・「日本における銀行規制(2)」『経済学論集』第51巻第2号, 1985年7月(堀内昭義氏との共著)
- ・「沿道整備法の概要とその問題点」『公害研究』第15巻第3号, 1986
- ・『土地改革の基本戦略』日本経済新聞社, 1988
- ・「経済的インセンティブを利用した自動車交通公害対策」『季刊環境研究』第71号, 1988
- ・「環境保全制度としての譲渡性開発権制度」『環境学科学会誌』1(2), 1988
- ・「公的金融と金融自由化」岩田規久男・石川経夫編『日本経済研究』東京大学出版会, 1988
- ・「地球温暖化対策への経済的手段の導入について」『環境学科学会誌』2(4), 1989(日引聡, 森田常幸両氏との共著)
- ・「市街化農地の宅地並み課税と計画」『ジュリスト』No.986, 1990年12月1日号
- ・『インフレとデフレーション不安の経済学』講談社, 1990
- ・「土地税制の改革」貝塚啓明ほか編集『税制改革の潮流』有斐閣, 1990
- ・「地球温暖化抑制のための経済政策」『公害研究』第21巻1号, 1991
- ・『ストック経済の構造』岩波書店, 1992
- ・「いわゆる『金余り』と地価高騰について」『金融経済研究』第2号, 1992年1月
- ・「日銀理論を放棄せよ」『週刊東洋経済』1992年9月12日号

- ・「ベースマネー供給増は可能」『経済教室』日本経済新聞社，1992年12月24日
- ・『土地税制の理論的・計量的分析』東洋経済新報社，1992（山崎福寿，花崎政晴，川上康の各氏との共著）
- ・「土地税制と土地利用と地代・地価」水野正一編著『資産課税の理論と課題』税務経理協会，1992
- ・『金融政策の経済学』日本経済新聞社，1993
- ・「なぜ日銀は実質的“引締め”を続けるのか」『週刊エコノミスト』1994年1月4日
- ・「東京の自動車交通公害問題」八田達夫編『東京一極集中の経済分析』1994
- ・『日本経済の神話—「常識」のベールをはぐ』日本経済新報社，1995
- ・『日本型平等社会は減ぶのか』東洋経済新報社，1995
- ・「破綻したマネー軽視の金融政策」『論争東洋経済』1996年5月号
- ・「定期借家権の『法務省論点』に異議あり アンシャンレジーム法務省」『論争東洋経済』1997年9月号
- ・「『談合の温床』入札制度の改革を急げ」『論争東洋経済』1997年11月号
- ・「マンションの法と経済分析」岩田規久男・八田達夫編著『住宅の経済学』日本経済新聞社1997
- ・『金融法廷—墮落した銀行・墮落させた大蔵省』日本経済新聞社，1998
- ・「赤字国債は『将来世代の負担』なのか」『論争東洋経済』1998年7月号
- ・「インセンティブとモラルハザード 資本注入問題を解くカギ」『論争東洋経済』1999年1月号
- ・「市場規律型の金融監督政策について」貝塚啓明編『金融資本市場の変貌と国家』東洋経済新報社，1999
- ・「日本の土地市場のインフラ整備」『エコノミックス』東洋経済新報社，1999年10月13日号
- ・「長期国債買い切りオペを増額すべき」『論争東洋経済』2000年1月（岩田規久男編著『金融

- 政策の論点―「検証：ゼロ金利政策」東洋経済新報社，2000に所収]
- ・『ゼロ金利の経済学』ダイヤモンド社，2000
 - ・『金融』東洋経済新報社，2000
 - ・「総括 日本の90年代の金融政策」『週刊東洋経済 臨時増刊』2000年8月2日
 - ・『デフレの経済学』東洋経済新報社，2001
 - ・「資産デフレ下の金融政策」『エコノミックス』東洋経済新報社，2001年4号
 - ・“Encouraging Moderate Inflation”，*JAPAN ECHO*，June 2001
 - ・「金融・経済再生に必要なインフレ予想形成と証券化」東洋経済新報社編
 - ・『日本経済ラストチャンス』，2002
 - ・「デフレ克服には金融政策のレジーム転換が必要」『エコノミックス』東洋経済新報社，2002年春号（岡田靖，安達誠司両氏との共著）
 - ・「大恐慌と昭和恐慌に見るレジーム転換と現代日本の金融政策」原田泰・岩田規久男編著『デフレ不況の実証分析―日本経済の停滞と再生』東洋経済新報社，2002
 - ・「予想形成に働きかける金融政策を」小宮隆太郎・日本経済研究センター編『金融政策論議の争点―日銀批判とその反論』日本経済新聞社，2002
 - ・『失われた10年の真因は何か』東洋経済新報社，2003（宮川努氏との編著）
 - ・『スッキリ！日本経済入門』日本経済新聞社，2003
 - ・「脱デフレ，赤字国債購入も」『経済教室』日本経済新聞，2003年6月11日
 - ・『まずデフレをとめよ』（編著）日本経済新聞社，2003
 - ・『日本経済再生に「痛み」はいらない』東洋経済新報社，2003（八田達夫氏との共著）
 - ・『昭和恐慌の研究』東洋経済新聞社，2004（岩田規久男編著）
 - ・「日銀は2－3%のインフレを実現せよ」『日本経済の論点』ダイヤモンド社，2004

- ・「昭和恐慌に見る政策レジームの大転換」岩田規久男編著『昭和恐慌の研究』東洋経済新報社，2004（岡田靖，安達誠司両氏との共著）
- ・「昭和恐慌の教訓」岩田規久男編著『昭和恐慌の研究』東洋経済新報社，2004
- ・「サッチャー改革の教訓」『環』2004年4月号
- ・「昭和恐慌と昭和金融恐慌」『学習院大学経済経営研究所年報』第18巻，2004年12月
- ・『日本経済にいま何が起きているのか』東洋経済新報社，2005
- ・『日本経済を学ぶ』筑摩書房，2005
- ・『小さな政府を問いなおす』筑摩書房，2006
- ・『ゼミナール経済政策入門』2006（飯田泰之氏との共著）
- ・『そもそも株式会社とは』2007
- ・『景気ってなんだろう』筑摩書房，2008
- ・“Lessons from the Inoue Zaisei and the Takahashi Zaisei “, *Gakushuin Economic Papers* no.3, vol.43, October, 2008
- ・『世界同時不況』筑摩書房，2009
- ・『日本銀行は信用できるか』講談社，2009
- ・『金融危機の経済学』東洋経済新報社，2009
- ・「『高橋財政』に学び，大胆なりフレ政策を一昭和恐慌以上の危機に陥らないために」『週刊東洋経済』2009年6月13日号
- ・「『不安』を「希望」に変える経済学』PHP 研究所，2010
- ・『福沢諭吉に学ぶ思考の技術』東洋経済新報社，2011
- ・『経済学的思考のすすめ』筑摩書房，2011
- ・『経済復興 大震災から立ち上がる』筑摩書房，2011

- ・『デフレと超円高』 講談社, 2011
- ・『ユーロ危機と超円高恐慌』 日本経済出版社, 2011
- ・『日本銀行デフレの番人』 日本経済出版社, 2012
- ・『インフレとデフレ』 講談社, 2012